

科目名	長期インターンシップ (電子・通信システム工学コース)	英文表記	Long Term Internship	H23.3.25		
科目コード	6021	教員名：【電子通信】石田修己，比嘉勝也，兼城千波 技術職員名：			作成	
対象学科／専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
創造システム工学専攻・電子通信システム 工学コース	専1	選	学修	4単位	実習	集中講義
目標 及び 評価方法	目標項目		評価方法及びその割合			
	① 実際の現場で長期にわたって業務を体験することで、実践的な技術を理解する。		①研修（日報による報告）（30%） 研修先評価（30%）			
	② 社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につける。		②研修先評価（20%）			
	③ 共同研究や受託研究を通して、研究開発の意義を学び、遂行することができる		③研修報告による評価（20%） 上記①②③の60%以上で合格とする。			
	④		④（%）			
	⑤		⑤（%）			
高専 目標	1 ◎	2	3	4 ○	JABEEプログラム名称 情報通信システム工学	JABEEプログラム教育目標 A-1,A-3,A-4,B-1,B-2,B-3,C-1,C-2,C-3
授業概 要、方 針、履修 上の注意	1. 履修を希望する学生は、各コース科目担当教員の指導を受け、授業計画に基づいて、インターンシップを実施する。 2. 実際の現場で長期にわたって業務を体験することで、実践的な技術を理解する。 3. 長期間にわたる実務経験を通して、職業意識を向上させ、実社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につける。 4. 学校教育と就業体験の結合により、より高い職業意識を育成し、自主性・創造性溢れる専門性高い人材生成を目指す。 5. 習得した専門知識を生かし、学外における実務研修により、実社会で必要な要素・能力（企画力、計画性、実行力、労働・契約の意義、コミュニケーション能力、情報管理など）を実践レベルで身につける。					
教科書・ 教材	教員作成資料、企業作成資料					
授 業 計 画						
回数	授 業 項 目	時間	授 業 内 容		予 習 項 目	
1	講義内容説明・ガイダンス	1	インターンシップの意義と講義の進め方についてガイダンス			
2	インターンシップ先企業研究	9	企業調査、マッチング		企業調査	
3	インターンシップ	160	約1カ月間程度企業研修を実施する		与えられる課題・調査項目	
4	成果報告まとめ	10	インターンシップ報告資料を作成し、提出する。			
5						
学習時間合計		180	実時間		150	
学修単位における自学自習時間の保証（レポート頻度など） 企業調査、報告書作成（20時間）を含め、180時間以上とする。						

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(50分=1、100分=2)